

様式第 5 - 1 (日本工業規格 A 列 4 番)

南館公活第 2 号

令和 2 年 5 月 1 2 日

国土交通大臣 殿

住 所 千葉県南房総市富浦町青木 2 8

氏名又は名称 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

副会長 嶋 田 守 印

令和 2 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金

(地域公共交通調査事業 (計画策定事業 (地域公共交通協働トライアル推進事業))) 交付申請書

令和 2 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通調査事業 (計画策定事業 (地域公共交通協働トライアル推進事業))) 金 10,000,000 円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 (昭和 30 年法律第 179 号) 第 5 条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

令和2年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金

(地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業))) 交付申請事業

補助対象事業者名 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

(単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
<p>【名称】 南房総・館山地域公共交通計画策定事業</p> <p>【内容】 ○地域公共交通計画(案)の取りまとめ ○地域内のバス路線乗降調査 ○地域内のバス路線実証運行 ○協議会の開催</p>	<p>着手予定日: 交付決定日以降</p> <p>完了予定日: 令和3年3月31日</p>	20,084,061	10,000,000

(添付書類)

- (1) 補助対象経費に係る見積書
- (2) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業（計画策定事業（地域公共交通協働トライアル推進事業））の実施に関する計画

### 1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

南房総市・館山市は、房総半島の南端に位置し、古くから商圈・生活圏を共にしている。南房総・館山地域の公共交通は、JR 館山駅の開業以後、この駅を中心として鉄道、路線バス、タクシー等が運行、利用されてきた。

両市の公共交通の概況や共通の問題点は次のとおり。

南房総市は、平成 18 年 3 月に、南房総地域の 6 町 1 村の合併によって誕生した市で、人口約 38,000 人（令和 2 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口）の農漁村地域である。三方を海に囲まれた地形で、房総丘陵が海岸線近くに広がっており、総面積 230 平方キロのうち可住地面積は 110 平方キロと限られたエリアにしか居住地がないのが特徴である。

館山市は人口約 46,000 人（令和 2 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口）、総面積 110.05 平方キロ、海岸線の延長は 34.3 キロで、西は東京湾・太平洋に面し、周りを南房総市に囲まれている。館山駅がある市内中心部は平野が広がり市街地が形成される一方、周辺部は海・山が近く、農漁村となっている。

本地域の交通の要衝であり、商店や事業所が多数立地している館山市と、町村合併により館山市を囲むように市域を展開している南房総市とは、通勤や通学、通院、買物等の相互流動が大きくなっている。

人口構成については、少子高齢化が進んでおり、高齢化率は南房総市 44.9%、館山市 39%（いずれも平成 31 年 4 月 1 日現在）となっており、千葉県全体の高齢化率 26.8%を大きく上回る。生産年齢人口の流出に伴う著しい人口減少と高齢化の進展する「過疎地域」及び、交通条件や地理的条件等に恵まれず、他の地域に比べて地域住民の生活文化水準が低い基準である「辺地地域」も有する地域である。特に三方を海に囲まれる半島性は変則的な地形に加え、面積が広い地域にもかかわらず可住地面積が限定されているため、バス路線は長大で往復運行にせざるを得ない非効率な状況となっている。

両市の公共交通機関は、JR 東日本内房線の 9 駅（岩井・富浦・那古船形・館山・九重・千倉・千歳・南三原・和田浦）を有しているほか、ジェイアールバス関東、館山日東バスが運行するバス路線が合計 8 路線あり、館山駅から放射状に路線網を展開している。そのうち 7 路線は、両市を跨ぎ、住民の重要な交通手段となっている。しかしながら各路線とも、沿線住民の人口減少等に伴い、利用者数の減少が続いている。特に廃止代替路線の 4 路線は、両市が年間計約 4,000 万円の補助金を支出している状況であり、現状の形態での継続運行に課題が生じている。なお、南房総市では、前記のバス路線のほか市営路線バスとして 2 路線、スクール混乗路線として 2 路線を運行委託している。

一方、東京や県都千葉市との連絡（都市間輸送）については、運賃や本数で優位に立つ高速バスの利用が大半となっており、鉄道における都市間輸送の役割が薄れてきている状況である。このような状況を受け、平日の特急列車全廃や日中の普通列車の君津駅系統分離が行われるなど、

衰退の一途をたどっている。

タクシーについても、利用者の減少により、平成 30 年 5 月に本地域では最大規模の会社が撤退するなど、大変厳しい状況である。

以上の実態を踏まえ、本地域が抱える課題は、次のとおりである。

- (1) 人口減少等による公共交通利用者の減少に対応する、子どもから高齢者まですべての人が利用しやすく、かつ持続可能な公共交通網の構築
- (2) 移動実態やニーズと、現状の路線バス網との乖離の解消
- (3) 自家用車に依存せざるを得ない状況への対策と、高齢者等の移動手手段の確保
- (4) 本地域の主要産業である観光客向けの二次交通不足の解消
- (5) 情報不足や“きっかけ”不足に対応した、住民や来訪者に対するモビリティマネジメント

## 2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

【協議会の構成員となる地方公共団体：千葉県・南房総市・館山市】

これまで、南房総市・館山市がそれぞれで公共交通に関する施策や事業展開を行ってきたが、生活圏を共にする両市が千葉県や交通事業者と連携することにより、両市に跨る幹線交通を中心に、公共交通体系を一体的に見直し、効率的かつスピード感をもって持続可能な公共交通網を形成することが求められている。地域住民の生活交通を確保するとともに、まちづくりや観光振興等の地域戦略と一体となった地域公共交通ネットワークを構築すべく、目標や方向性、関係者等の役割、各種事業のスケジュール等を明確にした計画を策定したいと考えている。

計画策定のためには、本地域の公共交通機関の利用状況や地域別特色等について調査結果を参考にしつつ、地域住民の生活交通と来訪者の観光型交通の融合など、この地域ならではの特性や利用者ニーズに応じた路線の見直しを図るため、住民及び関係者の協力のもと、計画策定及び各種調査事業を実施していきたい。

### ◆南房総・館山地域の現状（仮定）

- ①人口減少等による利用者減少
- ②高速道路網整備による影響
- ③公共交通利用時の選択肢の減少
- ④助成制度等の情報不足
- ⑤来訪者の二次交通不足
- ⑥地域公共交通に対しての関心が希薄
- ⑦自家用車に依存せざるを得ない状況等



### ◆左記に対する取組案

- ・ 1 か月の利用者数の把握と行動分析
- ・ イオンタウン館山との連携
- ・ 安房地域医療センターとの連携
- ・ 高齢者外出支援策の情報発信
- ・ 定額乗り放題チケットの試験導入
- ・ 利便性を高める路線再編（車両小型化含む）
- ・ 運行時間帯の再検討
- ・ 鉄道・バス・タクシーの役割分担
- ・ 観光モデル運行ルートの設定
- ・ 行政及び関係者による統一的な情報発信

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
南房総・館山地域公共交通計画（案）の取りまとめ	前年度に実施した基礎調査の結果や課題分析を基に、本地域の公共交通分野の基本方針や目標、方向性、施策等を立案し、計画書にまとめていく。なお、計画書の内容については、協議会での審議のほか、パブリックコメントを実施し、広く沿線市民等から意見を募集し、より良い内容にしていく。
地域内のバス路線乗降調査	現状の公共交通の利用状況や課題等を把握するため、当地域の基幹バス路線の3路線において30日以上継続的な乗降調査を実施し、バス停ごとの利用状況を分析する。
地域内のバス路線実証運行	予てより利用が低迷している路線について、路線設定の妥当性や系統分離、車両サイズ等の検証、さらには利用者の意見を計画に反映させるため、60日程度のバス実証運行調査を実施する。運行については、地域内の交通事業者に委託する予定。
協議会の開催	計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について審議するため、協議会を計4回開催する。

4. スケジュール				
実施項目	4月	9月	12月	3月
南房総・館山地域公共交通計画（案）の取りまとめ				
地域内のバス路線乗降調査				
地域内のバス路線実証運行				
協議会の開催				

様式第5-1 別紙

5. 予算計画				
実施項目	総事業費 (見込み)	補助対象経費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
南房総・館山地域公共交通計画(案)の取りまとめ	4,427千円	4,427千円	2,204千円	2,223千円
地域内のバス路線乗降調査	5,320千円	5,320千円	2,649千円	2,671千円
地域内のバス路線実証運行	9,230千円	9,230千円	4,596千円	4,634千円
協議会の開催	1,107千円	1,107千円	551千円	556千円
合計	20,084千円	20,084千円	10,000千円	10,084千円

## 仕 様 書 (案)

### 1 委託業務名

南房総・館山地域公共交通計画策定支援業務

### 2 基本条件

- (1) 委託期間 契約締結の日から令和3年3月15日(月)
- (2) 委託内容 計画策定に係る一式とし、委託料の範囲内で契約時に決定

### 3 業務対象地域

対象地域は、館山市及び南房総市全域とする。

(但し、調査にあたり、効果的と判断する場合においては、これに限定するものではない。)

### 4 業務目的

これまでは、館山市及び南房総市がそれぞれで公共交通に関する施策や事業展開を図ってきたが、当協議会を中心に両市に共通する公共交通体系を見直し、日常的な生活交通を確保するとともに、まちづくりや観光振興等の地域戦略と一体となった地域公共交通ネットワークを構築すべく、目標や方向性、関係者等の役割、各種事業のスケジュール等を明確にした合同の交通計画を策定したいと考えている。

そのため、本業務は、地域の特性を捉えた利便性向上と持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に向けた公共交通のマスタープランとなる「南房総・館山地域公共交通計画(以下「交通計画」という。)」の策定を支援するものである。なお、策定の支援にあたっては、2市に跨る現状の公共交通網の課題や、当該地域の移動実態等を捉えながら新たな公共交通の形態を試すことも考慮するとともに、地域公共交通利便増進計画等の具体化する計画を視野に入れた実効性のある計画として本計画の策定を支援するものとする。

### 5 業務内容

#### (1) 南房総・館山地域の公共交通に関する課題整理

平成30年度及び令和元年度に実施した公共交通に関する各種調査及び令和2年度に実施予定の路線バス状況調査等の結果などから2市に跨る鉄道や路線バスを中心に課題の整理を行う。

- ・人口減少、高齢化等による利用者減少の実態について
- ・地域住民の買い物や通院等の移動実態について
- ・地域別の公共交通の特性や需要について
- ・両市のまちづくり等の地域戦略と一体性を確保するため、関連計画や観光

振興施策等の整理・把握をする

- ・館山市及び南房総市の地域公共交通網形成計画との連動性について
- ・今年度実施予定の路線バス乗降調査の数値を分析する。また、そのデータを有効活用し、課題等を整理する。

(2) 広域視点での地域公共交通ネットワーク案の検討

2市に跨る路線バスについて、利用状況や収支状況、公費負担等を整理するとともに、利用者の利便性向上に向けた各交通モードの役割を明確にした持続可能な地域公共交通ネットワークを検討する。

(3) 鉄道の利用促進策の検討

鉄道（JR 内房線）は通勤・通学や観光客の移動手段として重要な役割を果たしているが、近年利用者が激減していることから、現状の課題を整理したうえで、鉄道の更なる利活用や利用促進策について検討する。

(4) 交通結節点の検討

南房総・館山地域における長大で不採算なバス路線を、持続可能で効率性に適った体系へ転換するにあたり、乗り換えの拠点としての交通結節点にかかる調査・検討を行う。

(5) 地域に適した交通体系の検討

①南房総・館山地域における望ましい公共交通網のあり方

地域内の全ての公共交通が担う役割・機能、ターゲットを明確にし、南房総型公共交通ネットワークを提案するとともに、その実現に向けた基本方針（あり方）を以下の観点から設定する。

- まちづくり戦略事業との連携
- 生活圏に応じた隣接市町との総合的な公共交通ネットワーク形成
- 広域移動ニーズに対応した二次交通ネットワークサービス設定
- 地域特性に応じた多様な交通サービス（鉄道、高速バス、フェリー、バス、タクシー等）の組み合わせ
- 関係者の役割と責務の明確化

②期待される効果及びルール・基準の検討

施策が実施された場合の効果検証及び今後 PDCA に基づきモニタリング・見直していくために具体的で可能な限り数値化したルール・基準等について検討する。



(6) 地域公共交通計画の取りまとめ

- ・ 策定に当たっては、館山市及び南房総市の地域公共交通網形成計画との整合が取れた内容とすること。
- ・ 検討にあたっては、各種交通手段相互の連携に配慮するとともに施策の実現に向けた各関係者の役割分担と責務を明確にし、重点的に取組むべき施策について検討する。
- ・ 特に南房総市内の三芳・丸山地区等については、南房総市再編実施計画策定時に検討した丸線・平群線の見直しに併せた新しい運行システムについて実証運行等の実施も踏まえ検討する。
- ・ (1)～(5)の課題や各種検討内容などをとりまとめ、地域公共交通計画策定に向けた提案を行う。
- ・ 他地域を参考とした公共交通利用促進に向けた周知方法の提案。
- ・ 以上を地域公共交通計画としてとりまとめる。

(7) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会の運営支援

南房総・館山地域公共交通活性化協議会において使用する協議資料の事前作成や、会議（分科会含む）運営への必要な協力、計画策定の効果等に関する会議での報告・説明等を行う

(8) 打合せ協議

業務にあたり南房総・館山地域公共交通活性化協議会事務局担当職員との間で適時に十分な打合せを行うとともに、作業の進捗を図るものとし、事務局は業務期間中いつでもその進捗状況の報告を求められることができるものとする。また、定期的な打合せ会議を現地において行うこととする。

(8) アドバイザー派遣

南房総・館山地域公共交通計画策定に必要な専門的・技術的な助言を求めため、学識経験者の派遣を行い、打合せ会議等を複数回実施するとともに、その知見等を計画策定に反映させていく。

5 成果物

- 業務報告書一式（各種調査結果報告書、分析資料等） 3部
- 南房総・館山地域公共交通計画書の冊子 100部
- 南房総・館山地域公共交通計画書（概要版の冊子）100部
- 全成果品の電子データ（ワード・エクセル版、PDF版）
- その他委託作業により作成した資料一式については、その都度納品すること

6 成果物提出先

千葉県南房総市富浦町青木28（南房総市総務部企画財政課内）

南房総・館山地域公共交通活性化協議会事務局

7 活用データ等

・本仕様書記載事項以外に、当該地域で実施することが望ましい調査がある場合は、見積もり金額を超えない範囲において提案を行うことができる。

8. 留意事項

(1) 法令等遵守

受注者は、本業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

(2) 資料の貸与

発注者が保有する本業務に必要な資料は、発注者から受注者に貸与するものとする。貸与資料については、破損、滅失等のないように慎重に取り扱うものとする。また、資料やデータを外部に漏洩してはならない。

(3) 守秘義務

受注者は、南房総市及び館山市個人情報保護条例を遵守し、業務上知り得た個人情報等の秘密を他人に漏らしてはならない。業務終了後においても同様とする。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合はこの限りではない。

(4) 損害の賠償

本業務の実施に当たり、第三者に損害を与えた場合、直ちにその状況等を報告し、市の指示に従うものとする。なお、損害賠償の責任は、受注者が負うものとする。

(5) 成果品の帰属

本業務における成果品は、全て発注者に帰属するものとし、受注者は発注者の許可なく複製、使用、流用又は他への公表をしてはならない。また、履行に当たり、第三者の著作権等の抵触するものについては、受注者の責任において処理するものとする。

(6) 再委託の禁止

受注者は、本業務の全部を一括して、若しくは主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、主たる部分を除き、発注者の承諾を得た場合についてはこの限りではない。なお、承諾を受ける場合は、発注者に対し再委託承諾願いを提出するものとする。

(7) その他

本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めがない事項については、発注者との協議により定めるものとする。

# 路線バス運行状況調査レポートサービス

## ～ご利用ガイド～

© 2017 UNiTRAND. Inc. All rights reserved.

### 目次



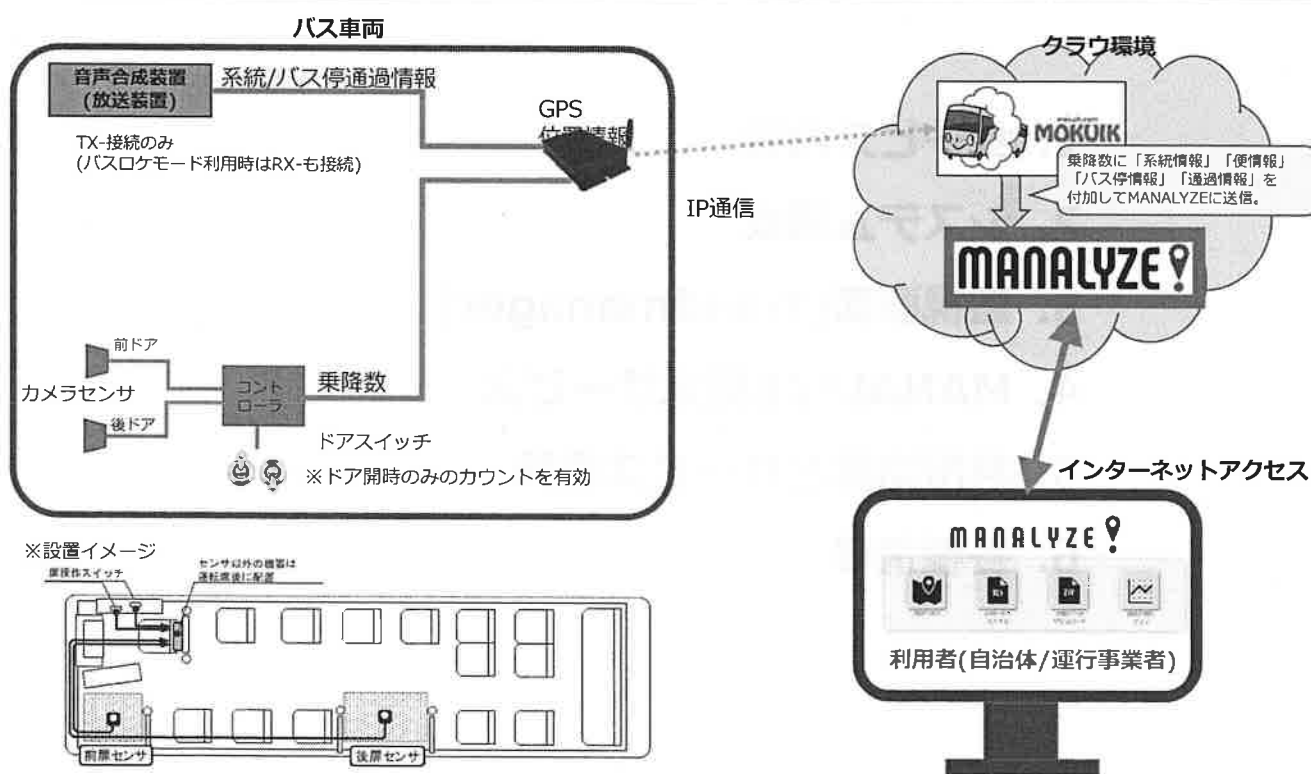
1. サービス内容
2. システム構成
3. 監視画面(Trandmanager)
4. MANALYZE閲覧サービス
5. 利用期間とサービス概算
6. 各種情報

# 1. サービス内容



- ・路線バスの運行状況(系統～便毎の乗降情報と遅延情報)をバス車両に搭載した車載器から取得しオンライン通信にて運行管理システムに送信。受信したデータはMANALYZE閲覧レポートサービスを介して運行状況を提供します。
  - ・車両に搭載する車載器はについて  
AZ-119A-01 系統情報と送りボタン情報の取得と共に、GPS情報とBMS500W/Sからの乗降データをオンライン通信します。  
BMS500W/S 扉上部に設置したカメラセンサより乗降数を取得し、AZ-119に乗降数をリアルタイムに送信します。
- ※放送装置から有効な系統情報が流れない場合は、系統/便の判定は「ダイヤ割り当て方式」や「タイマー方式」にて間接的に対応いたします。

# 2. システム構成



推奨ブラウザ:googlechrome  
(EIは未サポート)

### 3. 監視画面(Trandmanager)



- サービス期間中は事業者向けバスロケ機能をご利用になれます。  
Trandmanager監視画面 (PC/スマホ)

スマホ画面



多様な監視項目

- 列の並び順
- マーカーの色と形状
- 列の表示/非表示
- マーカーの色
- 進行方向
- 車種ID
- 乗客数
- 停留所
- ストップ場所
- 目的地
- ダイヤコード
- 車種ID
- 路線ID
- 車種
- 遅延(分)
- バリエーション
- 乗客数(人)
- 遅延率(%)
- 遅延率(%)

PCモニター画面



車両番号で絞る

車両単位の運行系統情報

遅延情報

拡大/縮小



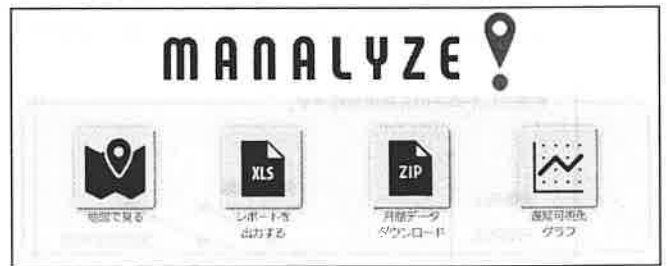
© 2017 UNI TRAND, Inc. All rights reserved.

### 4. MANALYZE閲覧サービス



#### ◇クラウドサービス

- MANALYZEはクラウドサービスで提供します。
- 標準で、3アカウントのアクセスキーを提供。
- ブラウザはGoogleChromeに対応(サポート可)。
- 専用機器(サーバー/PC/ソフト)はございません。



遅延可視化グラフはオプション提供です。

#### ◇各種メニュー

- 「レポートを出力する」:期間と路線を指定検索し乗降レポートをダウンロード(EXCEL形式)

- 停留所ごとの乗車数、降車数、通過人数(車両に残留していた人数)、乗降者数(乗車数+降車数)の日別の合計値をExcelファイルとして出力

- 路線単位の日別の乗車数、降車数、乗降者数の合計値を出力

乗降人数データ		2017年05月26日(土)~2017年06月02日(日)																
停留所名	乗車	降車	乗降	乗車	降車	乗降	乗車	降車	乗降	乗車	降車	乗降	乗車	降車	乗降	乗車	降車	乗降
ひまわり線	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522
ひまわり線(往路)	705	555	1260	705	555	1260	705	555	1260	705	555	1260	705	555	1260	705	555	1260
ひまわり線(復路)	706	556	1262	706	556	1262	706	556	1262	706	556	1262	706	556	1262	706	556	1262
合計	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522	1411	1111	2522

No.	路線/系統名	2017年05月26日(土)			2017年06月02日(日)		
		乗車	降車	乗降	乗車	降車	乗降
1	ひまわり線(往路)	2390	2390	4780	2385	2385	4770
1	ひまわり線(復路)	636	636	1272	627	627	1254
2	あやめ線(往路)	208	208	416	228	228	456
2	あやめ線(復路)	1546	1546	3092	1530	1530	3060
3	たんぼほ線(往路)	2624	2624	5248	2489	2489	4978
3	たんぼほ線(復路)	754	754	1508	745	745	1490
4	あやめ線(往路)	1498	1498	2996	1422	1422	2844
4	あやめ線(復路)	372	372	744	322	322	644
5	あやめ線(往路)	1485	1485	2970	1429	1429	2858
5	あやめ線(復路)	1056	1056	2112	984	984	1968
6	あやめ線(往路)	185	185	370	183	183	366
6	あやめ線(復路)	1312	1312	2624	1430	1430	2860
7	あやめ線(往路)	1032	1032	2064	1144	1144	2288
7	あやめ線(復路)	39	39	78	57	57	114
合計		7811	7811	15622	7733	7733	15466

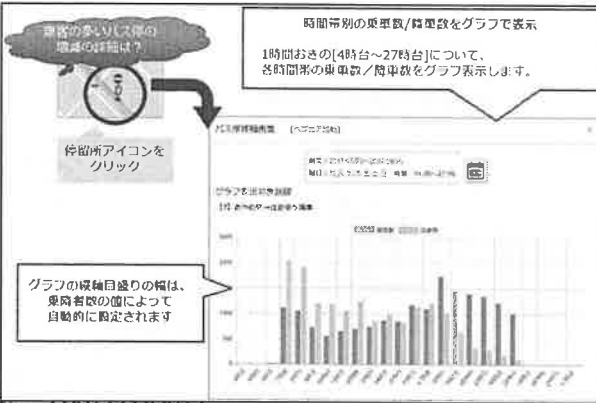
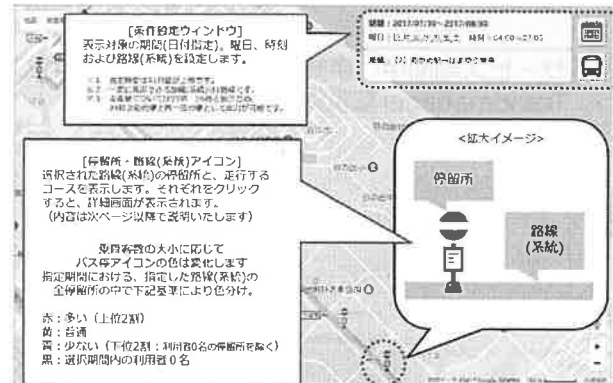
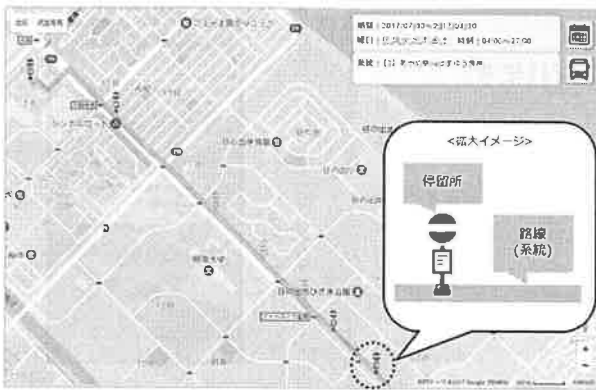


© 2017 UNI TRAND, Inc. All rights reserved.

# 4. MANALYZE閲覧サービス



・「地図で見る」 : 系統毎/任意期間の乗降数を地図上の系統線とバス停で可視化



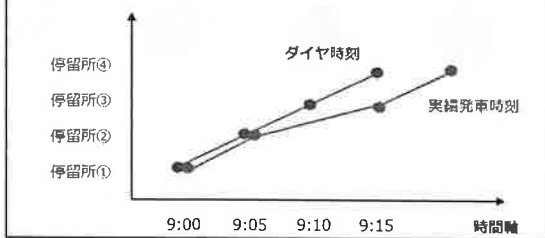
© 2016  
© 2017 UNITRAND, Inc. All rights reserved.

# 4. MANALYZE閲覧サービス

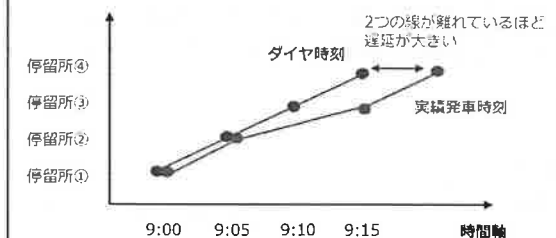


・「遅延可視化グラフ」 : 運行情報のグラフによる可視化

- ・ 停留所ごとのダイヤ時刻と実績発車時刻を、線の色を分けた状態で、棒グラフで表示します。
- ※ 停留所を通過した場合でも実績時刻が記録されるなど、一定の条件を満たした場合のみ利用可能です。



- ・ ダイヤ時刻よりも実績時刻が遅れている場合、遅れが大きければ大きいほど、2つの線は横方向に離れて描画されるので、遅延の有無や、どの停留所から遅れが大きくなっているか等を把握できます。
- ・ 下図では1つの便だけに注目して描いていますが、実際の画面では1日に運行した便の数だけ、2つの線のペアが出力されます。



**【条件設定】**  
グラフ表示対象の日付と路線(系統)を設定します。

**【縦方向の拡大設定】**  
行間が詰まっている場合、最大300%まで拡大表示できます

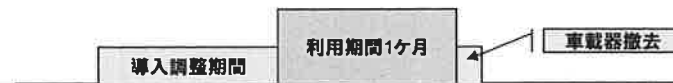
**【縮小グラフ】**  
1日分の全便のグラフを縮小表示します。このグラフ中の一部分を選択すると、選択した箇所をクローズアップしたものが画面中央に表示されます。(上図の例では8:00~10:00の範囲に絞ってクローズアップしています)

© 2016  
© 2017 UNITRAND, Inc. All rights reserved.

## 5. 利用期間とサービス概算



### 標準単月ケース



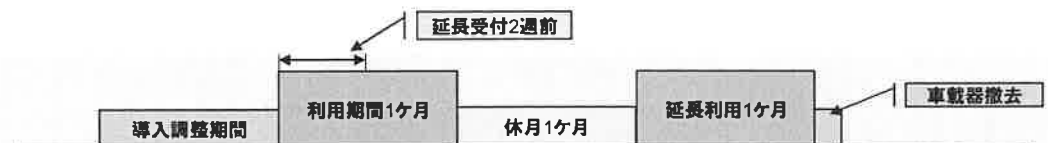
- ・「導入調整期間」調査規模により2ヶ月間必要な場合がございます。
- ・月間ダウンロード提供にてMANALYZEサービスは停止となります。

### 単月延長ケース



- ・初期契約が単月で途中延長の場合の延長利用料金は、初期月額利用料と同額となります。
- ・調査環境の変更がある場合は環境調整費を別途お見積り。
- ・車両複数台の契約で車両毎の月額延長が可能です。

### 休月を含むケース



- ・初期契約が単月で翌々月をサービス期間とする場合、休月期間は月額利用額の1/2のシステム維持費用とし、延長利用額は初期月額利用料と同額となります。調査環境の変更がある場合は環境調整費を別途お見積り。
- ・初期契約で複数月契約にて休月がある場合は、休月期間は月額利用額の1/3のシステム維持費用とし、延長利用額は初期月額利用料と同額となります。
- ・調査環境の変更がある場合は環境調整費を別途お見積り。
- ・休月時はMANALYZEサービスはご利用頂けません。

## 6. 各種情報



本サービスをご利用にあたり路線バスの運行情報や車両情報の提供をお願いします。

#### ◇運行バスの車両について

- ・車両の種類 (大型バス、中型バス、ポンチョバス、タウンエース、など)
- ・乗降ドア数 (対象バスのドア数)
- ・放送装置 (メーカー名とモデル名)

#### ◇系統情報

- ・運行ダイヤに関してデータで提供いただけるもの
- ・放送装置に登録されている系統IDとバス停順

#### ◇バス停情報

- ・バス停情報としてデータで提供頂けるもの。
- ・標柱単位の緯度経度の情報(お持ちの場合)



© 2015 UNITRAND, Inc. All rights reserved.

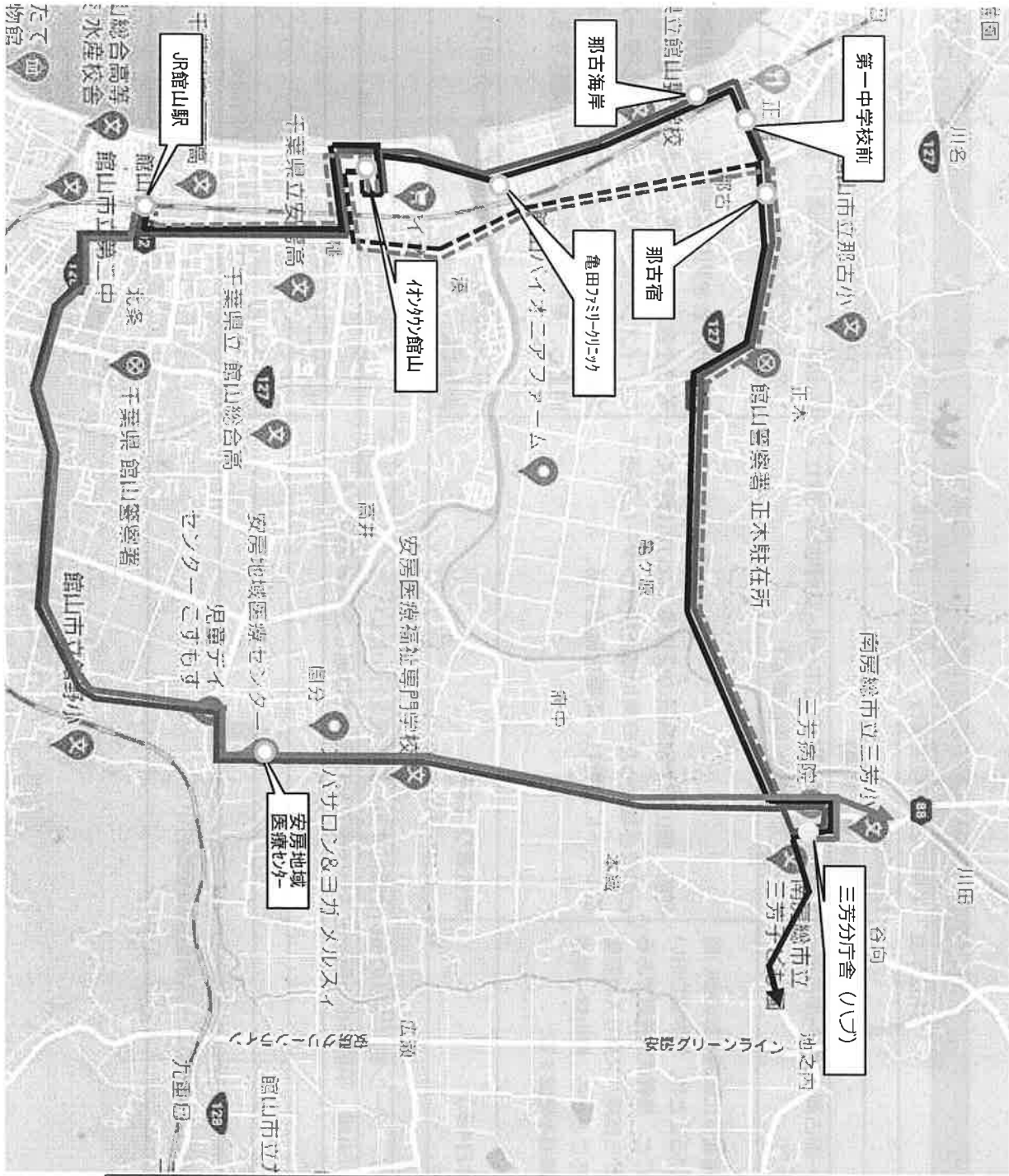
UNITRAND



丸・平群線実証運行計画案

	丸線	平群線	循環線
実証時期・期間	令和2年度下半期に2か月程度運行 ※館山市街地循環バスと時期を揃える		
走行キロ数	17,290m	16,460m	15,530m
新規停留所数	6 (循環線と共用)	4 (循環線と共用)	9 (うち4つは平群線と共用、6つは丸線と共用)
ルート	別紙参照 (館山駅-イオン-那古海岸通り-那古宿-三芳分庁舎-御庄-川谷)	別紙参照 (館山駅-文化ホール-安房地域医療センター-三芳分庁舎-平群車庫)	館山駅-イオン-海岸通り-那古-三芳分庁舎-医療センター-南総文化ホール-館山駅
実証運行の目的	現行ルートの館山駅～那古宿間は比較的本数の多い別路線 (市内線) と重複していることや、海岸通り沿いの交通空白地解消を目指すこと、基幹医療施設である亀田ファミリークリニックから路線バス乗り入れ要望があり一定の需要が見込めることから、館山駅～那古宿間を海岸経由に変更し、需要を確認する。	従前、館山駅で別系統の乗り換えなければ行くことのできなかった安房地域医療センターに直通するルートに変更し、需要を確認する。	三芳分庁舎を乗り継ぎ拠点とし、利用者の多い三芳分庁舎以南 (以西) の本数を増強するとともに、イオン方面・安房地域医療センター方面の双方向にアクセス可能とすることにより、利便性を向上し、乗り継ぎ需要の有無を確認する。
運行本数	現状通り (平日6本、土休日4本)	現状通り (4本)	イオン先回り3本、医療センター先回り1本 合計4本
運行日	毎日		
運賃	現行の距離制運賃とするが、ゾーン制 (キリの良い金額にする) の実証を行いたい		
乗継割引	丸・平群線⇄循環線または丸線・平群線相互間を三芳分庁舎で乗り継ぐ際は通し運賃を適用する		
使用車両車種	現行車両を使用		
使用車両数	1	1	1
車両調達方法	レンタル又は社内・グループ内調達		
その他	モニターを募集するなどの方法によるニーズ調査実施を検討中		

# 丸・平群線実証運行ルート案



- 館山三芳循環線 停留所
    - 館山駅東口
    - 館山駅前通り (駅方面のみ)
    - JA北条支店前
    - 安房高校前
    - 入幡神社前
    - イオンタウン館山
    - 亀田ファミリークリニック前
    - 市民運動場前
    - セブンイレブン那古海岸店前
    - 那古海岸
    - 第一中学校前
    - 那古宿 (途中省略)
    - 三芳病院前
    - 三芳分庁舎前
    - 本織
    - 府中
    - 安房医療福祉専門学校前
    - 安房地域医療センター
    - 萱野口 (途中省略)
    - 南町
    - 六軒町本通り
    - キネエ通り (駅方面のみ)
    - 館山駅東口
  - 丸線 (青線) 停留所
    - 那古宿～川谷間は現状どおり
    - 第一中学校前～館山駅間は循環線と同一停留所に停車
  - 平群線 (緑線) 停留所
    - 土沢～平群車庫間は現状どおり
    - 館山駅～三芳分庁舎までは安房地域医療センター回りで循環線と同一停留所に停車
    - 館山駅～安房地域医療センター間は館山鴨川線、白浜千倉館山線と同一停留所に停車
- ※上記●印は新規設置停留所

- 丸線 (現行ルート)
- - - 平群線
- - - 平群線 (現行ルート)
- 循環線